

蘇南高 生徒が茶摘み



学校の茶畑で茶摘みをする生徒たち

南木曾町の蘇南高校（小川幸司校長）で12日、生徒らが茶摘みをした。地域の特産品に理解を深める目的などから10年以上続く恒例の行事で、1年生約50人や新任職員が学校敷地内の約2畝の茶畑で作業をした。

枝の先端の「一芯三葉」を摘むことを教わってから取り組んだ。生徒たちは茶畑に散らばり、次々と鮮やかな新芽を摘んでいった。10キ近く収穫した茶葉は、町内の産地・田立地区の製茶工場で加工してから味わい、来客用などにも使う。

松谷龍平君は「『一芯三葉』を見つけてるのは意外と難しく感じた。いい経験になった」と話していた。

（大高崎慧）